

令和7年7月25日

学校関係者評価委員会報告書

学校法人 札幌青葉学園
北海道歯科衛生士専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人 札幌青葉学園 北海道歯科衛生士専門学校 学校関係者評価委員会は、自己評価委員会において作成された令和6年度自己評価報告書に基づき学校関係者評価を実施したので、以下の通り報告いたします。

記

1. 日時：令和7年6月24日（火） 19:00～20:30

場所：北海道歯科衛生士専門学校 1階会議室

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

<委員長>

進藤 正信 （北海道大学大学院・名誉教授）

<委員>

河合 洋平 （医療法人社団 かわい歯科クリニック 理事長）

齋藤 紫穂 （医療法人仁友会 日之出歯科真駒内診療所・歯科衛生士 士長）

白戸 舞子 （デンタルオフィスユー 大通公園歯科クリニック・歯科衛生士）

加藤 萌 （同窓会会長 昼間部7期生）

4. 事務局

吉田 重光 （北海道歯科衛生士専門学校・校長）

中村 麻希 （北海道歯科衛生士専門学校・教務部長）

益田 友美 （北海道歯科衛生士専門学校・昼間部教務主任）

菅原 和美 （北海道歯科衛生士専門学校・夜間部教務主任）

安藤 貴美 （北海道歯科衛生士専門学校・昼間部教務副主任）

中村亜希子 （北海道歯科衛生士専門学校・夜間部教務副主任）

吉田 香 （北海道歯科衛生士専門学校・事務長）

5. 学校からの説明

令和6年度自己評価報告書について

6. 学校関係者評価委員による評価結果

項目	評価
基準1 教育理念・目標	○時代のニーズに合わせて変化・対応していくことは大事だが、北衛の理念で基本理念である「即戦力を有する人材育成や社会人としての態度を身に着けさせる」等は時代が変わっても守り続けていただきたい。
基準2 学校運営	○全ての項目で適切に運営されていることが示されている。 ○ホームページやインスタなどのSNSで、若い女性に好まれそうな雰囲気発信しているのがとても良い。
基準3 教育活動	○昼間部・夜間部ともに教員の確保が安定してきたのは喜ばしい。 ○今後は国家試験の出題傾向に対応して、授業内容も変えて行く必要があると思われる。 ○コロナ後から介護施設での実習が困難であることを理解した。国家試験でも該当分野からの出題が多いため、介護施設が難しければ、介護医療病院や保健所などの実習がカリキュラムに組み込まれると、より理解が深まるのでないかと思う。
基準4 学修成果	○国家試験の合格率について、昼間部1名の不合格とあるが、全国との比較では非常に高い合格率を維持しているため、パーセンテージと表記するより「不合格者は一人のみ」と表記してはどうだろうか。実際、他校は不合格者を複数出しているため、100%ではなくとも他と比べて合格率は高い水準にある。また、不合格者のフォローアップも手厚いと思われるので、こちらもしっかりと記載した方が良いと思う。 ○退学率の低減に関しては、退学に至る理由として①勉学についていけない、②対人関係がうまくいかない③他の進路に進みたい④金銭的に通学が困難、⑤仕事との両立が困難などをあげている。これらの中で近年は①②の理由が多いとのことであるが、各々の問題を箇条書きにして具体的な対応とその結果どうなったかを記すことにより、問題点と対策がより明瞭になると思う。 ○退学の理由として精神的なものが原因の場合は、教務が話を聞いてあげることも対策にはなるが、可能であれば外部の専門カウンセラーを設置できればより良いと思う。
基準5 学生支援	○歯科医院側からの意見としては、北衛出身の方に入社してもらいたい歯科医院が数多くあることを、もっと学生や卒業生に知ってほしい。そのためには同窓会の活動の中で、求人情報の掲載、研修会の充実、卒業生と現役の在校生の交流などを充実させてほしい。 ○卒業生への支援体制については、大々的なものだけでなく、クラスメイトが集まるプチ同窓会のような形式で、気軽に卒業生と教員が話し合えるような仕組みを作っておくのも良いのではと思った。

基準6 教育環境	○適切であるが、今後は経年変化に伴う対する補修等が随時必要になっていくと考えられる。
基準7 学生募集	○ホームページやSNSを非常に有効活用しており、評価できる。 ○毎年定員を満たせるように、積極的な学生募集を行って、成果が出ることを期待している。
基準8 財務	○情報公開を適切に行っている。 ○昨今の物価、人件費の高騰を考えると、現在の教育環境を維持・発展させるためには、学費の値上げを検討しても良いと思われる。
基準9 法令等の遵守	○個人情報の保護対策に関しては、引き続き整備に期待したい。
基準10 社会貢献・ 地域貢献	○ボランティア活動に関して、学校周辺のゴミ拾いをした結果、近隣の方からの反応等があったのかは聞きたかった。アピールのためだけではないので必ずしも反応が無くても良いが、フィードバックがあると今後の活動に活かせると思う。

以上